

# 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：令和4年7月14日

評価者：川崎区民間活用事業者選定評価委員会

## 1. 業務概要

施設名	東海道かわさき宿交流館
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日
業務の概要	<p>■事業に関する業務</p> <p>東海道川崎宿に関する歴史・民俗等の資料の展示、情報の収集及び提供、東海道川崎宿に関する活動の支援、企画展示、その他施設の目的を達成するために必要な事業など</p> <p>■施設の運営に関する業務</p> <p>受付、案内、貸館業務など</p> <p>■施設等の維持管理に関する業務</p> <p>施設等の保守管理、備品等管理、修繕、施設等の保安警備、清掃・環境衛生など</p> <p>■その他施設の管理運営のために必要な業務</p> <p>総務・経理、広報・宣伝、利用者意見等の把握、運営に協力するボランティア等の人材の育成、各種統計等資料作成及び調査の回答、自動販売機の設置及び管理、物品販売に関する業務など</p>
指定管理者	<p>名称：川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ</p> <p>代表者：公益財団法人川崎市文化財団 理事長 瀬戸豊彦</p> <p>住所：川崎市幸区大宮町1310番地 電話：044-272-7366</p>
所管課	川崎区役所 まちづくり推進部 地域振興課（内線：61352）

## 2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>1 事業の概要等について</p> <p>(1) 東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行う業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設にあらかじめ設置されている資料の展示を実施した。</li> <li>東海道かわさき宿交流館指定管理仕様書のとおり、展示資料の追加を年1回以上行った。</li> <li>市民ミュージアム所蔵の川崎宿ジオラマを運搬し、仮展示を開始した。本格展示は令和4年度を予定している。</li> <li>企画展の開催について、3階企画展示室にて、仕様書では年4回以上の実施となっているところを年6回以上開催した。（平成30年度：8回、令和元年度：6回、令和2年度：6回、令和3年度：7回）</li> </ul> <p>(2) 市民相互の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集会室について、市民団体などに会議に利用してもらうなど、市民活動の場所を提供した。</li> <li>まちあるき団体の休憩場所として利用されているが、新型コロナウイルス感染拡大後は来館者の滞留防止のため、休憩スペースを利用禁止とするなど、臨機応変に対応した。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大により、2階展示室で使用を休止している衣装を希望する団体に貸出しを行った。</li> </ul> <p>(3) 文化イベントなどの実施</p>

・第1期指定管理期間に引き続き、事業計画書のとおり落語や講談などの文化イベントを年16回以上開催した。

・令和2年度から市民愛好家と連携しアマチュア名人会寄席を開催している。

## 2 利用実績について

### (1) 来館者数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
49,724人	41,717人	23,277人	30,376人

### (2) 集会室の利用率

#### ●第1集会室

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
66.4%	60.6%	55.9%	58.6%

#### ●第2集会室

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
50.4%	48.9%	43.3%	46.9%

#### ●談話室

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
33.2%	29.6%	31.1%	31.2%

## 3 評価について

### (1) 東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行う業務

館内展示について、「かわさき歴史ガイド協会」による館内ガイド担当者を配置し、利用者に対し、展示の説明などの案内を行い、利用者が展示について理解しやすくなる環境作りがされていた。また、展示資料の追加を年1回以上行うことや市民ミュージアム所蔵の川崎宿ジオラマを運搬し仮展示を行った。利用者に理解しやすい環境作りや展示資料を定期的に追加することで、今後の来館者、特にリピーターを増やしていくような取組を実施していると言え、評価できる。

### (2) 市民相互の交流

集会室利用について、プロジェクター、マイクなどを無料貸出することや、新型コロナウイルス感染拡大対策の消毒用品一式を準備し、利用者に安全・安心なサービスが提供されていた。また、手すりやエレベータボタンなどの手に触れる箇所を定期的な消毒や換気を随時実施している。新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中でも、集会室の利用率が高い状態を保っている要因と考えられ、評価できる。

### (3) 文化イベントなどの実施

落語や講談のイベントは、往復はがきでの事前申込制をとっているが、毎回定員を超える申込があり、また、「街道シリーズ」や「江戸時代の粋に遊ぶ」についても定員近くまで来場している実施回もあり、イベント参加者に好評を博している。多数の参加者に加え、満足度が高いことからリピーターが多くなっており、東海道かわさき宿交流館の魅力発信に寄与していると言え、評価できる。

2	<p>当初の事業目的を達成することができたか。</p>	<p>1 目的</p> <p>東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の文化の振興に寄与することを目的としている。</p> <p>2 達席状況</p> <p>(1) 東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行う業務</p> <p>「かわさき歴史ガイド協会」による展示の説明は親切丁寧な対応であり、アンケートでも高い評価を得た。通常展示として、市民ミュージアムから「川崎宿ジオラマ」を運搬し、仮展示を開始した。(令和4年度に本格展示を実施する予定。)企画展示について、仕様書で定めた年4回を超える回数を毎年開催し、水害により閉館している市民ミュージアムと連携し「昔のくらしと道具展」の開催や「被災後活動報告展」の開催場所の提供などを行った。また、寄贈を受けた「東海道五十三次押絵羽子板展」を開催した。</p> <p>(2) 市民相互の交流</p> <p>集会室は、令和3年度の利用率がコロナ禍ではあるものの45.6%であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前である平成30年度の利用率(50.0%)より微減となっている。コロナ禍を考慮に入れると、利用率は高い状態を保っていると言える。</p> <p>(3) 文化イベントなどの実施</p> <p>日本特有の伝統文化イベントである「江戸時代の粋に遊ぶ」を年4回、街道をテーマにした講演を年3回、さらに落語や講談などの文化イベントを定期開催したことで市民の文化振興に大きく寄与した。(※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館となった時期があったため、文化イベントの開催回数は減少した。)</p> <p>3 評価について</p> <p>集会室の利用率が高い状態を保っていることや文化イベントを着実に開催していることなどから、事業目的は概ね達成された。</p>
3	<p>特に安全・安心の面で問題はなかったか。</p>	<p>消防計画に基づき年2回の消防訓練を実施した。また、救命救急訓練の受講やコロナ禍における文化施設の感染対策に関する研修の受講など、危機管理に対して高い意識をもっている。</p> <p>閉館から事故などはなく、第1集会室のドアのバリアフリー化を行うことや黒松に音波の動物除けを設置することなど事故の可能性を減少させる取組を行っているなど常に意識も高く、評価できる。</p>
4	<p>更なるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。</p>	<p>引き続き、魅力的な展示や文化イベントの開催により、来館者の満足度を上げる必要があるとともに、東海道川崎宿起立400年や東海道かわさき宿交流館開館10周年などといった記念のイベント等とのシナジー効果など、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により減少した来館者を増加させる取組を実施する必要がある。</p> <p>また、東海道川崎宿に係る活動団体などへの支援を引き続き積極的に実施するとともに、東海道かわさき宿交流館が東海道川崎宿に係る取組の中心的立場となり、東海道川崎宿全体の魅力向上につなげていく必要がある。</p>
5	<p>非公募更新のための条件を満たしているか (該当施設のみ)</p>	<p>非該当</p>

### 3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																													
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<p>所管課は、指定管理者からの事業報告書（月次、年間）を精査し、報告に基づく管理運営状況の確認を行い、必要に応じて業務改善や効率化の指示を適切に行った。また、定期的なモニタリングを行い、施設の維持管理を把握・確認した。</p> <p>川崎市文化財団・東海道かわさき宿交流館・所管課による定例会を月1回開催し、情報共有を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大における対応などは随時情報共有を行った。</p>																													
2	制度活用による効果はあったか。	<p>1 サービス面</p> <p>東海道かわさき宿交流館のアンケート（令和3年度）による利用者満足度において、98.1%の利用者が「満足」もしくは「ほぼ満足」と回答しているなど、指定管理者制度による効果が出ている。</p> <p>また、指定管理者として東海道川崎宿スタンプラリーや東海道川崎宿2023まつりなどの地元のイベントについて企画段階から委員として参画、中心的な役割を担い、円滑にイベントが行われ、ネットワークを活かし実際の参加者が増えるなど、イベントの魅力向上に寄与し、地元へ貢献していることは評価できる。</p> <p>2 コスト面</p> <p>直営時に要する費用試算 59,649 千円（事業費 3,267 千円+管理運営費 32,067 千円+人件費 27,135 千円-収入 2,820 千円）に対して、R3 年度は 41,144 千円（指定管理料 42,014 千円-余剰金 900 千円）で運営しており、18,505 千円のコスト効果を生み出しており、指定管理者制度による効果が出ている。コスト効果を生み出した結果、収支は次表のとおりとなった。</p> <table border="1" data-bbox="438 1137 1391 1384"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">収入</td> <td>指定管理料（千円）</td> <td>41,177</td> <td>41,581</td> <td>41,248</td> <td>42,014</td> </tr> <tr> <td>その他収入（千円）</td> <td>5,299</td> <td>4,833</td> <td>3,486</td> <td>3,305</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>支出（千円）</td> <td>41,805</td> <td>44,637</td> <td>43,437</td> <td>44,419</td> </tr> <tr> <td>収支</td> <td>収支（千円）</td> <td>4,671</td> <td>1,777</td> <td>1,297</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	年度		H30	R1	R2	R3	収入	指定管理料（千円）	41,177	41,581	41,248	42,014	その他収入（千円）	5,299	4,833	3,486	3,305	支出	支出（千円）	41,805	44,637	43,437	44,419	収支	収支（千円）	4,671	1,777	1,297	900
年度		H30	R1	R2	R3																										
収入	指定管理料（千円）	41,177	41,581	41,248	42,014																										
	その他収入（千円）	5,299	4,833	3,486	3,305																										
支出	支出（千円）	41,805	44,637	43,437	44,419																										
収支	収支（千円）	4,671	1,777	1,297	900																										
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<p>現在、展示機器のメンテナンス及び新規展示製作を指定管理者、展示機器の改修については本市が行っている。メンテナンスと改修は一元的かつ計画的に行うべきで、歴史に精通した職員がいる指定管理者が行うことで、より専門的かつ利用者ニーズに応えた内容の展示が期待でき、展示改修について、指定管理業務に含むことでの効率性の向上や経費の縮減につながる可能性を検討していく必要がある。</p> <p>また、東海道川崎宿に関する活動の拠点となり、東海道川崎宿全体の賑わいの創出につなげていくため、交流館の運営を実施していく必要がある。</p> <p>災害に対する備えが重要になってきているため、地震対策などの備えを充実させていく必要がある。</p>																													
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>令和3年度のアンケートによると来場者のうち 98.1%が「満足」もしくは「ほぼ満足」と回答していることから、十分なサービスは提供できており、施設の維持管理も適切に行われている。</p> <p>第2期指定管理期間では、専門職員の知識や経験豊富な職員による人脈・企画力を最大限活用し、他施設と連携した企画展示やイベントなどを開催してきた。指定管理者は市内での文化</p>																													

	<p>施設運営の実績や観光面で多くのネットワークを持ち、民間のノウハウを活かした事業展開を実施している。また、適切かつ効率的な施設管理に努め、直営時試算費用約 59,649 千円を大きく下回る約 41,144 千円で運営が実現されており、コスト効果も大きい。東海道かわさき宿交流館の更なる魅力向上を目指す上では、今後も施設の特性を活かしながら現在の指定管理制度の活用による管理運営が適当であると考えられる。</p>
--	---

#### 4. 今後の事業運営方針について

東海道川崎宿起立 400 年や東海道かわさき宿交流館開館 10 周年といった機を活かし、東海道川崎宿全体の賑わい形成につながるような取組の実施や、活動団体などへの支援を行うには、これまでの取組を継承し、民間の知識やノウハウを活かした新たな手法や発想を取り入れた運営が重要であることから、指定管理者制度による運営を継続し、東海道川崎宿起立 400 年を迎えた後も見据えた継続的な取組を、東海道川崎宿に関する活動団体等とともに当施設が中心となって進めていく。